

地方から未来創造をリードする 「くずまきライフ」



岩手山に続く山並みを背景に風車3基が稼働。そのそばで乳牛がのんびりと草をはむ袖山高原

ミルクとワインとクリーンエネルギーのまちとして知られる岩手県の葛巻町くずまきまち。

県北地方のほぼ中央に位置し、袖山高原の展望台に立つと、標高1000級級の山並みの向こうに、西側には岩手山や安比高原、東側には北三陸の海が見渡せる。

人口約6600人。自然の恵みに感謝し、地域資源を最大限に生かそうとする町民の知恵とたゆまぬ努力が、この小さなまちに輝きを与えた。

「食糧・環境・エネルギー」。今の世界が抱える課題に真っ正面から向き合っている。

高原の風、太陽の光をエネルギーに換え、畜ふんや間伐材なども捨てずに再利用し、新たなエネルギーを生み出す。町内の暮らしにはクリーンエネルギーが根付いている。

エネルギー政策の現実と理想の狭間で暮らす21世紀の日本で、葛巻町は持続可能な社会を目指して、地域ぐるみで、小さな一歩でも理想に近づく姿勢を貫いている。

住民の視線の先にあるのは、子どもたちに残したい未来。

大地に根差し、自然と共に生きる術を受け継ぎ、地域のつながりの中で生きる「くずまきライフ」。そこに真の豊かさを感じ取り、帰郷する人、新たにこのまちに移り住む人もいる。

共に手を携えて地方から未来創造に挑む。日本の美しい心とふるさとを次世代へ引き継ぐために。